

1992年に登場した初代CBR900RRは、公道で意のままにライディングできる事を目指した特性により、かつてないエキサイティングな体験をライダーに提供し、より大きな排気量や最高速度、最高出力などの数値実現を追いかける当時のトレンドに終止符を打ったモデルでした。

以来、初代CBR900RRは、今に繋がる「スーパースポーツ」と呼ばれる新しいカテゴリーをつくったモデルとして記憶されています。そして現在、様々な考え方で造られたスーパースポーツモデルが存在するなかで、私達はライダーに提供すべきCBR“RR(アール アール)”の際立った価値とは何かを今一度見つめ直しました。その結果、四半世紀にわたり「ワインディングで真価を発揮する」ために進化させてきた「操る楽しみ」こそ、他では差し替えのきかない魅力だと再確認しました。そして、25周年となる2017年モデルのCBR1000RRは、初代CBR900RRからの思想を継承し、操る楽しみの最大化を意味する「Total Control」を進化させました。

開発テーマは

NEXT STAGE “Total Control” 操る楽しみの進化

その実現のために

- ・クラス最軽量*の車両重量とマス集中化がもたらす圧倒的な軽快性
- ・出力向上と、よりコントロールな特性を両立したパワーユニット
- ・ファンライディングをサポートする電子制御の搭載

を主な進化点としました。

※Honda調べ 2017年3月現在、直列4気筒1000ccスーパースポーツクラス。



■CBR1000RR

※写真は輸出仕様車です。

※走行写真はプロライダーによる走行を撮影したものです。